

# 平成27年第2回定例市議会 補正予算の概要

平成27年（2015年）6月16日

札幌市

# もくじ

## I 補正予算の概要

補正予算の規模	・	・	・	P 2
予算編成の考え方	・	・	・	P 3
ポイント1 待機児童ゼロへの取組	・	・	・	P 4
ポイント2 観光予算の倍増	・	・	・	P 5
ポイント3 地域経済の活性化	・	・	・	P 6
ポイント4 世界都市・道都としての都市基盤の整備	・	・	・	P 7
（参考）建設事業費の推移	・	・	・	P 8
4つの重点政策に沿った主な取組	・	・	・	P 9
ポイント5 将来を見据え健全な財政運営を維持	・	・	・	P 10

## II 主な事業

「雇用を生み出す力強い街」	・	・	・	P 12	～	P 25
「女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街」	・	・	・	P 26	～	P 35
「いつまでも安心して暮らせる街」	・	・	・	P 36	～	P 43
「魅力と活力にあふれた暮らしやすい街」	・	・	・	P 44	～	P 59

## III 資料

一般会計款別内訳表	・	・	・	P 61	～	P 62
各会計予算総括表	・	・	・	P 63		
補正項目一覧	・	・	・	P 64	～	P 73

# I 補正予算の概要

# 補正予算の規模

- 一般会計の補正額は288億円、補正後予算額は9,010億円
- 補正後予算額は、当初予算としては市政史上初の9,000億円超となる過去最大規模
- 特別会計・企業会計を加えた全会計では、対前年度比2.4%増の1兆5,734億円を計上

(単位: 百万円、%)

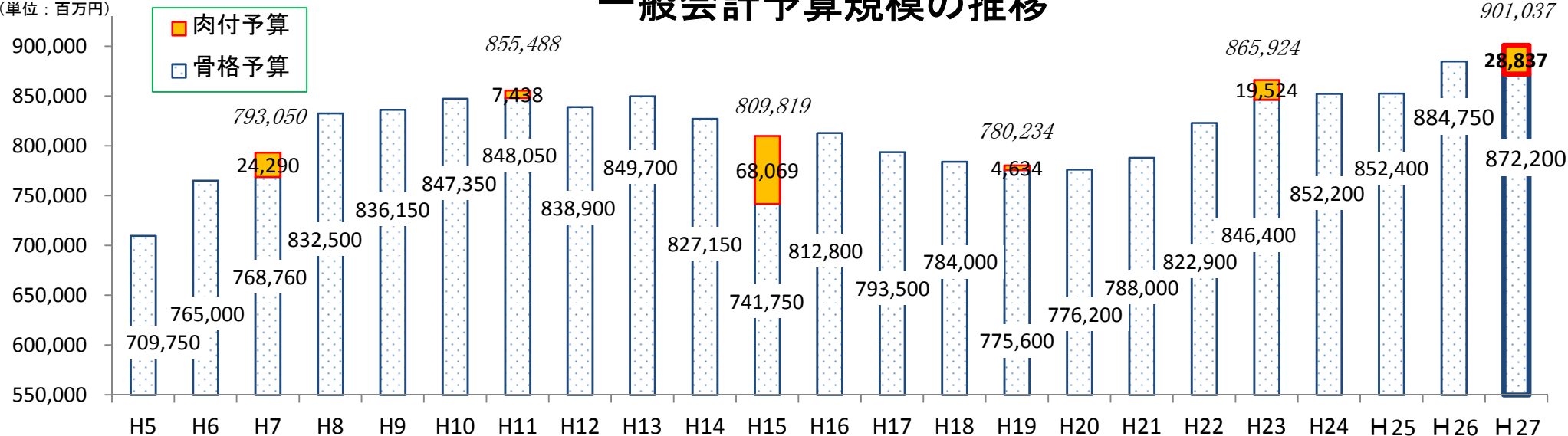
	平成27年度 (A)			平成26年度 (B)	比較増減 (A)-(B)=(C)	増減率 (C)/(B)
	当初予算	1臨専決	2定補正			
一般会計	901,037	872,200	14,283	884,750	16,287	1.8
特別会計	391,658	391,437	0	360,723	30,935	8.6
企業会計	280,689	280,613	0	290,829 <272,292>	▲ 10,140 <8,397>	▲ 3.5 <3.1>
総計	1,573,385	1,544,250	14,283	1,536,302 <1,517,765>	37,083 <55,620>	2.4 <3.7>

※企業会計の〈 〉内の数値は、公営企業会計制度の変更初年度の特異要素を除いた額である。

## 一般会計予算規模の推移

## 一般会計予算規模の推移

(単位: 百万円)



## 「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」と 「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」の実現を目指して

### 予算編成の考え方

- 「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」と「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」さっぽろを実現するため、4つの重点政策（P9）を設定
- 4つの重点政策の実現と「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の推進に向けた取組で、早期に着手、または事業化の目途を付ける必要のあるものを中心に編成
- 特に喫緊の課題である待機児童の解消に向けた取組や観光分野の充実、民間投資の誘発など地域経済の活性化につながる取組を積極的に計上

### 補正予算のポイント

- 保育所待機児童の解消に向けた取組を含め、子育て支援をさらに充実
- 国際観光の推進やイベントの拡充などにより、27年度当初予算比で観光予算を倍増
- 中小企業の支援や次世代型産業の育成など、地域経済の活性化に力点
- 市街地再開発事業や札幌駅交流拠点の整備など、世界都市・道都としての都市整備に向けた取組を積極的に盛り込み、建設事業費は、一般会計で1,000億円規模を確保
- 未来への投資を積極的に行いつつも、財政バランスを重視し、将来を見据えた健全な財政運営を維持

# POINT 1

## 待機児童ゼロへの取組

当初予算（616人分）と合わせて1,006人分の定員増

### 取組内容

平成28年4月1日の待機児童ゼロを目指して、保育所などの整備を進めるとともに、保育サービスの充実を図り、女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街を実現します。

#### 当初予算で計上済

##### ■616人分の保育定員増

○保育所の増改築(定員60人分)と認定こども園の整備(定員556人分)

#### 肉付補正予算で追加 (P28)

##### ■390人分の保育定員増

○賃貸による保育所の整備 200人分  
○小規模保育の拡充 190人分

##### ■多様な保育ニーズへの対応

○幼稚園における預かり保育の推進

賃貸物件確保を容易にするため、補助の募集基準を定員40人(前年度は60人)とします。

0~2歳児を受入れ可能な小規模保育の拡充により、待機児童が多い乳幼児に対応します。

認可保育所と同水準(開所時間や年間開所日数等)の預かり保育を行う私立幼稚園へ運営費を補助し、預かり保育の拡大を図ります。

#### 札幌市の待機児童の推移

	H23.4.1	H24.4.1	H25.4.1	H26.4.1	H27.4.1
待機児童数	865人	929人	398人	323人	69人

待機児童の年齢や居住区を考慮して肉付補正予算で取組を強化

目標

H28.4.1

0人

# POINT 2

## 観光予算の倍増

### 幅広い業種に経済効果が波及する観光産業の振興を強化

#### 取組内容

H27当初予算789百万円 ⇒ 補正後予算1,539百万円  
(H27.1定補正での先行分を含む)

※ 他に海外シティプロモートなど70百万円を計上

さっぽろを含めた北海道経済の成長をけん引する「観光」をこれからの成長分野と位置付けて、その振興に関する取組みを強化し、経済の活性化を図ります。

#### ■観光コンテンツの魅力アップ

○雪まつりつどーむ会場やオータムフェストの開催期間を1週間延長するなど観光イベントを拡大するほか、定山溪の魅力アップを推進（P19、23）

#### ■外国人観光客受入態勢の整備

○観光ホームページの多言語化や都心部の観光サインを充実させるほか、Wi-Fiの整備を推進（P22、24）

#### ■観光客の誘致

○アジアを中心とした観光プロモーション、航空便誘致を行い、外国人観光客の来札を促進（P21）

○北海道と連携してプレミアム付旅行券を発行し、来札観光客の増加と消費を喚起（P20）





# 地域経済の活性化

## 中小企業や次世代産業の育成・活性化と企業立地の促進

### 取組内容

さっぽろの地域経済を元気にするために、中小企業の支援や産業育成、企業立地に取り組みます。

#### ■中小企業・商店街のチャレンジを応援

- 中小企業者向け融資制度を拡大し、創業や海外展開等を促進（P16）
- 地域コミュニティの担い手である地域商店街の取組みを支援するほか、外国語・免税対応等、外国人向けサービスを強化するモデル事業を実施し、都心商業の活性化を促進（P17）

#### ■次世代型産業の育成

- 食・バイオ産業等とIT産業との融合によるイノベーションを創出するほか、市内IT産業の海外展開を支援（P14）
- 北海道や関係団体と連携しながら健康関連産業における新たな事業の立ち上げを促進（P15）

#### ■企業立地の促進

- コールセンターや首都圏本社機能の移転のほか、IT・コンテンツ、食・バイオ企業の立地を促進（P13）

#### ■観光予算の倍増（再掲）

【参考：H27年1定補正での主な地域経済対策】

（消費喚起）

- ・ さっぽろプレミアム付商品券発行
- ・ 子育て・多子世帯向け商品券交付

（人材育成）

- ・ 介護・障がい福祉・建設業人材確保
- ・ フレッシュスタート塾

（次世代産業の育成）

- ・ 健康関連産業研究開発支援
- ・ 健康関連産業競争力強化

（中小企業支援）

- ・ 外食産業海外展開支援
- ・ 輸出仕様食品製造支援



# POINT 4

## 世界都市・道都としての都市基盤の整備

民間投資を呼び込む再開発事業などを積極的に計上し、  
一般会計の建設事業費1,000億円規模を確保

### 取組内容

世界都市・道都としてのまちづくりを推進するため、民間投資を呼び込む再開発事業など建設事業を積極的に計上するとともに、将来のまちづくりに向けた検討や歩いて暮らせるまちづくりを進めます。

#### 主な都市整備関連予算

##### ■世界都市・道都としての都市整備

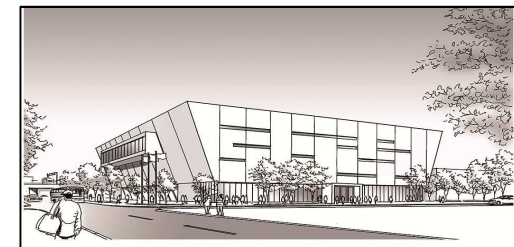
- 都市基盤の強靱化を進めるために道路・河川などを整備するほか、再開発や中央体育館改築、苗穂駅周辺など都心やその周辺の再整備を積極的に進め、当初予算と合わせて一般会計の建設事業費1,013億円を計上（P56、59）
- 札幌駅交流拠点や都心アクセス道路、都心エネルギー施策など、将来のまちづくりに向けた検討を推進（P49～51）

##### ■「歩いて暮らせるまちづくり」の実現に向けて

- 新さっぽろ駅周辺地区・篠路駅周辺地区など地域拠点のまちづくりの検討を推進（P58）



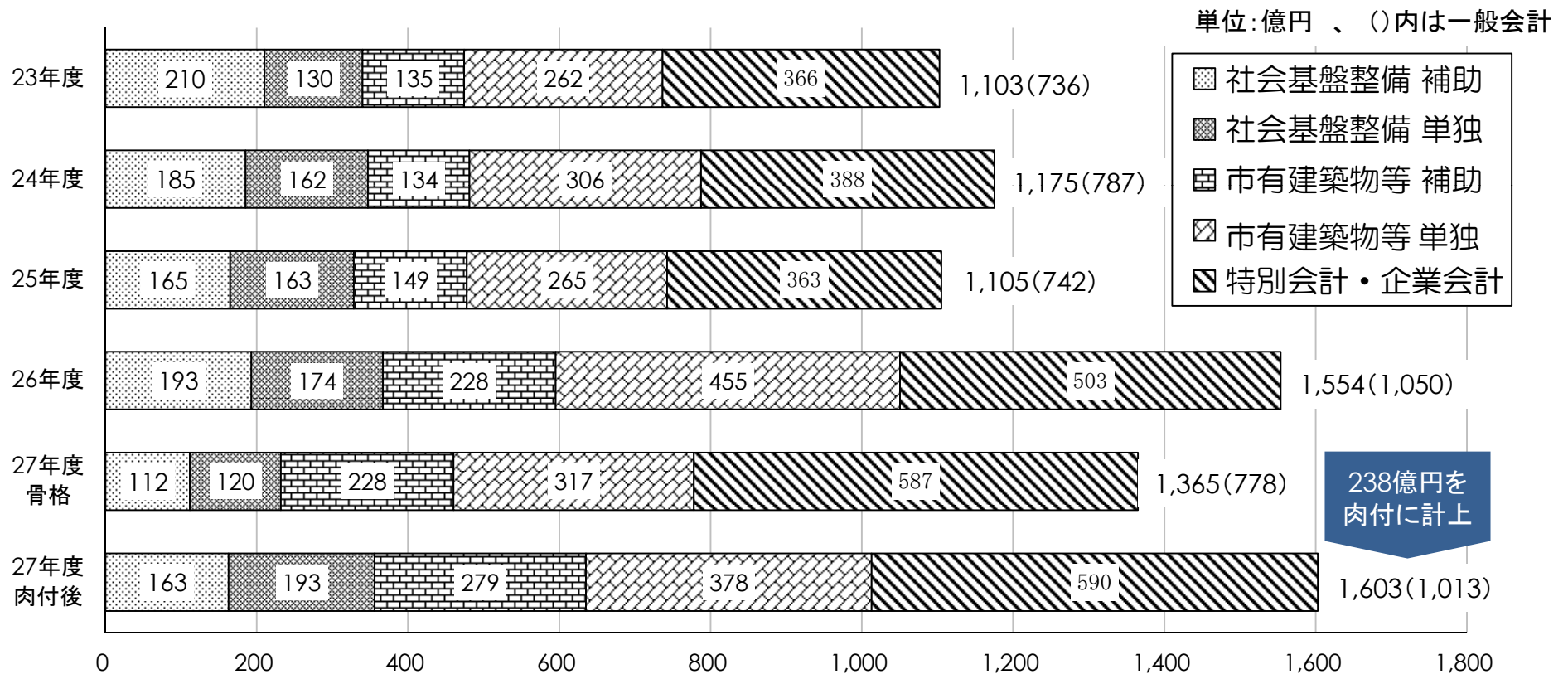
南2西3南西地区再開発



中央体育館イメージ

## (参考) 建設事業費の推移

- 特別会計・企業会計を含めた全会計の建設事業費は前年度比3.2%（49億円）増
- 一般会計においては、昨年度に続いて1,000億円を超える規模。市民交流複合施設の減（用地取得の終了）を除くと対前年度比7.1%（65億円）増



※ 社会基盤整備＝道路・街路・河川・公園整備

# 4つの重点政策に沿った主な取組

## 重点政策1 雇用を生み出す力強い街

### 地域経済を元気にする振興策を展開

- 中小企業者向け融資制度を拡大し、創業や海外展開等を支援(P16)
- 地域商店街の活性化に向けた支援を強化(P17)
- 都心の商業施設等を対象に外国人の消費喚起に向けた取組を実施(P17)
- 当初予算と合わせた一般会計の建設事業費は1,013億円

### 次世代を見据えた産業育成・人材育成を促進

- ITを活用した新たなビジネスモデルを構築できる人材を育成(P14)
- 健康関連産業における新たな事業の立ち上げを促進(P15)

### 企業立地の促進

- 本社機能、IT・コンテンツ、食・バイオ産業等の立地を促進(P13)

### 成長分野である「観光」予算を倍増

- 雪まつりやオータムフェストの開催期間を1週間延長し、集客力を向上(P19)
- 北海道と連携したプレミアム付旅行券の発行(P20)
- 外国人観光客の誘致に向けた取組の拡充(P21)や外国語対応観光サインの新設、Wi-Fi整備など受入体制を強化(P22、24)

## 重点政策2 女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街

### 待機児童ゼロ対策や放課後の居場所づくりを含め、子育て支援をさらに拡充

- 産前・産後ケアの充実に向け、初妊婦への家庭訪問を実施(P27)
- 保育定員を390人分追加し、27年度で1,006人分の定員増(P28)
- 保育所と同水準の預かり保育を行う幼稚園の拡大を図り、多様な保育ニーズに対応(P28)
- 札幌緑小学校区の多世代交流施設整備に着手するほか、民間児童育成会に対する補助金を拡充し、放課後の居場所づくりを推進(P29)

### 女性が力を発揮できる環境づくり

- 産休・育休・職場復帰等に関するセミナーを実施(P30)

### 子どもの多様な学びを支える取組を拡充

- 外国語指導助手を15人増員するほか、学校司書を9校に配置(P31)
- スクールカウンセラーの相談時間の拡大やスクールソーシャルワーカー体制を充実(P32)
- 学びのサポーターの活用時間を拡大し、特別な教育的支援を拡充(P33)

## 重点政策3 いつまでも安心して暮らせる街

### 互いに支えあう地域福祉力の向上

- 児童精神科医療を中心とした関係機関の連携体制を構築(P37)
- 障がい者の地域生活支援のため、5カ所の相談支援事業所に相談員を追加配置(P38)
- 重度身体障がい者の入浴サービスについて月4回から週2回に拡大(P39)
- 障がい児・者と有償ボランティアをマッチングする「サポートセンター」を1カ所から3カ所に拡大し、地域ぬくもりサポート事業を全区で展開(P40)

### 健康でいきいきと暮らしていくための福祉施策を充実

- 関係団体等と連携して「高齢者等に対する在宅医療体制」を構築(P41)
- 高齢者用肺炎球菌ワクチン定期接種の周知を強化(P42)
- 40、50、60、70歳の方を対象とした歯周疾患検診の周知を強化(P43)

## 重点政策4 魅力と活力にあふれた暮らしやすい街

### 世界都市・道都としての都市基盤の整備を促進

- 札幌駅交流拠点や新さっぽろ駅周辺地区のまちづくりを推進(P49、P58)
- 創成川通のアクセス機能を強化する都心アクセス道路の検討を推進(P51)
- 南2西3南西地区などの再開発事業を推進(P59)

### 「環境首都・さっぽろ」としての取組を推進

- 北1西1周辺街区におけるエネルギーネットワークの構築を支援(P50)
- 循環型社会の構築に向け、資源物のリサイクルを促進(P52)
- 燃料電池自動車の普及に向けた調査など次世代エネルギー活用を取組を拡充(P53)

### 交差点排雪の強化と持続可能な除雪体制の再構築

- 交差点排雪を効果的に行う体制を新設するほか、持続可能な除雪体制の再構築に向け、現状の除雪体制の効果や課題を検証(P57)



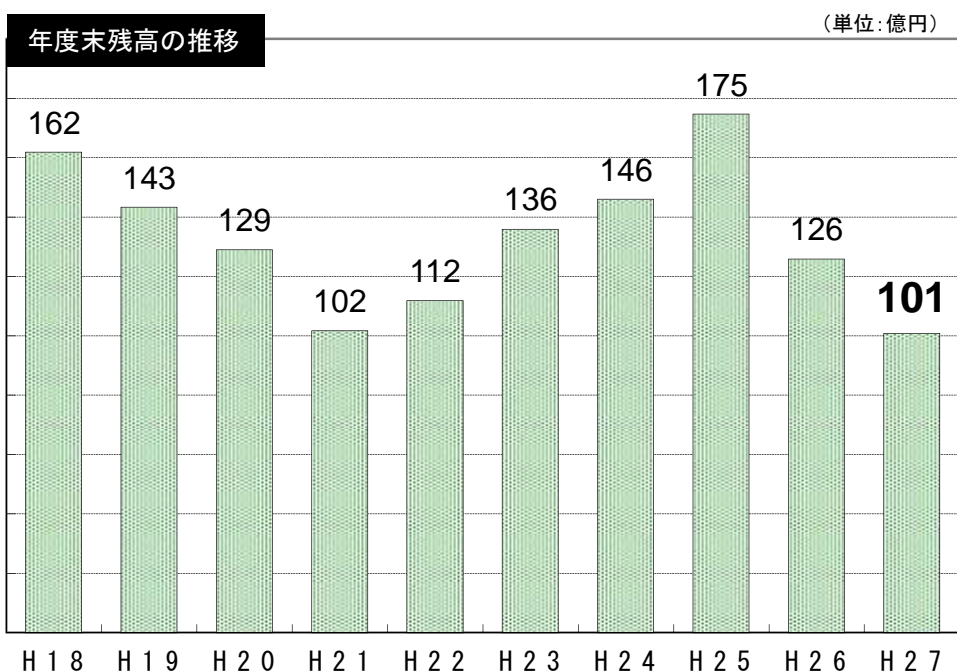
# 5 POINT

## 将来を見据え健全な財政運営を維持

- 未来への投資を積極的に行いつつも、財政バランスを重視
- 将来世代に過度な負担を残さないよう、持続可能な財政運営に引き続き留意

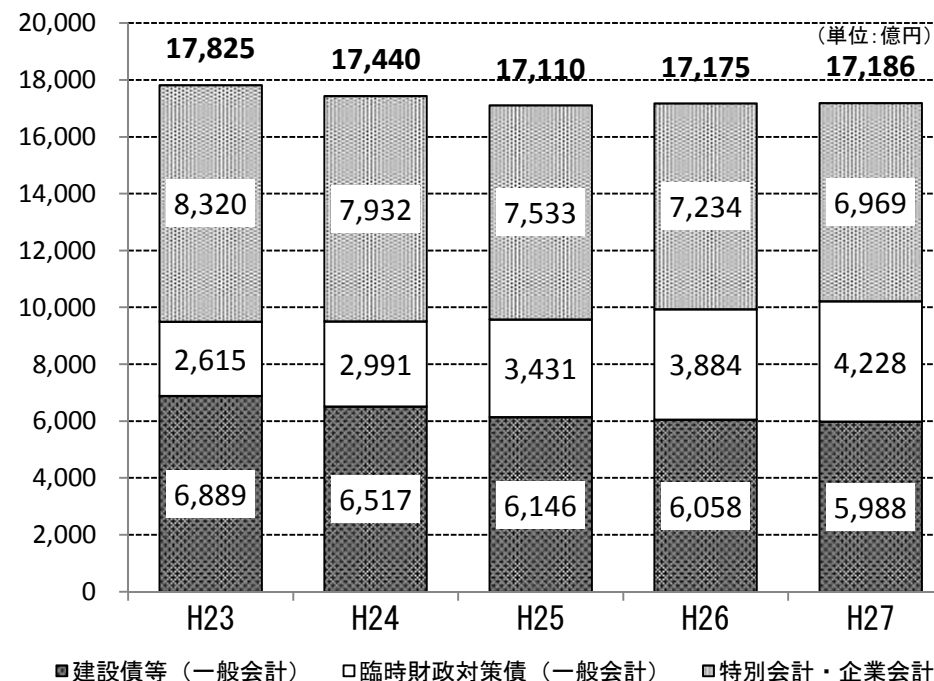
### 財政調整基金

将来へ向けた貴重な財源である財政調整基金の支消を25億円にとどめ、27年度末残高で100億円を維持



### 市債残高

臨時財政対策債が増加するものの、全会計の合計では市債残高は横ばい



※25年度までは決算ベース、26年度及び27年度は現計予算ベース